

## 平成 30 年度 地域リハビリテーション推進事業の実績について

理学療法士・作業療法士の職員 2 名が県内の障害者支援施設と生活介護事業所を訪問し、リハビリテーションの助言や技術指導等を行いました。

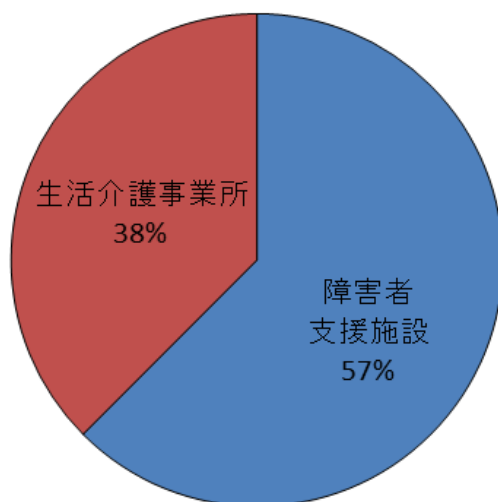
平成 30 年度は 7 施設を訪問し、本人やご家族、施設の職員等を合わせて 58 名の利用がありました。

### 【地域リハビリテーション推進事業により訪問した施設】

生活介護、自立訓練や就労移行支援等を行う障害者支援施設と、常に介護を必要とする方に昼間・入浴・排泄・食事の介護等を行う生活介護事業所から申込みをいただきました。

種 別	施 設 名	所在地	訪問回数
障 害 者 支 援 施 設	ありの美園	小林市	1回
	しおみの里	日向市	1回
	あすか園	串間市	1回
	向陽の里	国富町	2回
生 活 介 護 事 業 所	じょいすてっぷ	宮崎市	1回
	山田りんどう福祉会	都城市	1回
	うからの里 高鍋事業所	高鍋町	1回
	延べ人数 58名		8回

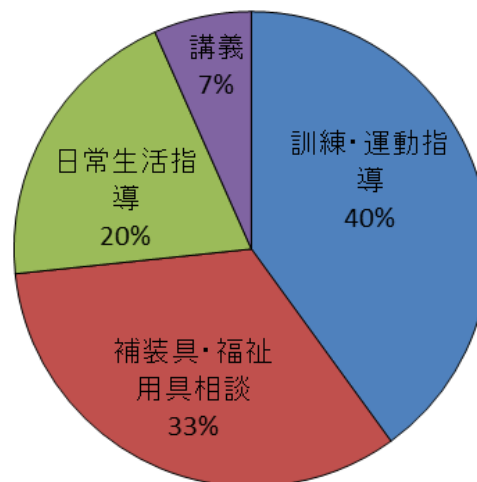
### 施設種別の内訳



### 【訪問相談の申込内容】

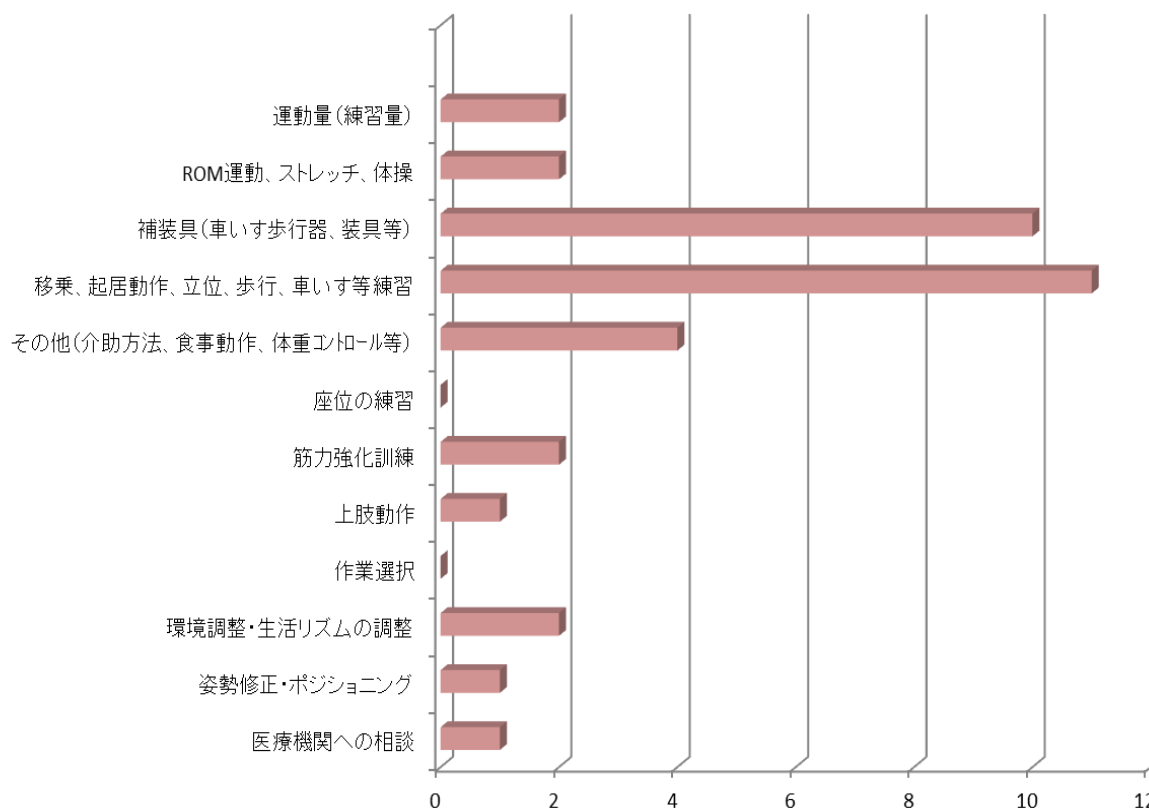
「相談・地域リハビリテーション申込書」に本人の身体状況や訓練内容等について分からない点を具体的に記載して申し込んでいただきました。

- ・歩行訓練
- ・上下肢の筋力強化訓練
- ・体操の指導
- ・補装具の申請
- ・福祉用具の選定
- ・食事場面の介入
- ・歩行時の付き添い方法
- ・職員研修



### 【助言・指導の内容】

申込の内容に即して、職員 2 名が実地評価し、36 件の助言や指導を行いました。



## 【相談と助言・指導の実例】

### 靴の選定方法のポイントがあれば教えて欲しい

(外反母趾のため、現在使用している靴では横幅が非常に窮屈な方の場合)

#### →横幅の大きい靴を試してみましょう

横幅のサイズが大きめの靴(2E・3E)を、専門店で購入されると良いと思います。それでも靴のサイズが合わない時は、整形外科で足底装具の製作を相談されるのも一つの方法かと思います。

### パーキンソン病の症状や対応について助言して欲しい

#### →緊張状態を改善しましょう

パーキンソン病には主に、手足の震え(振戦)、動きが遅くなる(無動)、筋肉が固くなる(固縮)、バランスが悪くなる(姿勢反射障害)などの4つの症状があります。

理想的には、立位姿勢や四つ這いで体を捻る運動(回旋運動)や胸を大きく張る運動(屈伸運動)が効果的ですが、車椅子座位での運動でも十分に効果が期待できますので継続して下さい。

### 運動に取り組む際に注意することを助言して欲しい

#### →あまり負担にならないストレッチを継続してみましょう

過度な訓練は一見効果的ですが、疲労が蓄積してしまうことで関節の動きが悪くなります。強度の目安は、次の日に疲労がないことです。また支援者が無理に関節を動かそうとすると筋肉を緊張させてしまったり、痛みを増幅させることもあります。体の重み(骨と筋肉)や重力によって自然と関節は動きますので、ご本人のペースに応じてサポートする程度で十分です。

本人の表情が歪んでいる時は、痛みやストレスのサインなので見逃さないように注意して下さい。